

ま さ き に あ な た へ

# ま 廣 さ 報 き

[www.town.masaki.ehime.jp](http://www.town.masaki.ehime.jp) Public Relations

Glistening water, smiling faces and a comfortable town to live. Masaki.



特集

## 家族

pick up

まさき文化祭

家族のきずな

山内尚さん 直子さん  
大弥くん 壮弥くん

Boys & Girls,  
Be Ambitious!

川本志穂ちゃん

# 12

December 2011  
No.421

## 家族のきずな

皆さんから友人知人の家族をリレーでつないで紹介するコーナーです。お誘いが来たらぜひ登場してくださいね。



山内尚さん 直子さん  
大弥くん 壮弥くん (新立)

◎ PROFILE  
やまうち・たかし 会社員。趣味は釣り。松山市出身。43歳  
やまうち・なおこ パート。趣味は映画鑑賞。埼玉県出身。38歳  
やまうち・ひろや 好きな教科は算数。好きな遊びはケードロ。小2  
やまうち・そうや 好きな遊びは高おに。5歳

新立に住む山内さんファミリー。家族全員がおちゃめで仲良し、4人そろえば笑顔が絶えません。「子どもたちがとにかくにぎやかで。1日1回は絶対大笑いさせてくれます」と話すご夫婦。「うれしい日常だよ」と家族みんながにっこり。

「大弥は、お手伝いをたくさんしてくれます。お米を研いでくれたり、洗い物をしてくれたり。壮弥は、お兄ちゃんの体調が悪いとき、『大丈夫？欲しいものあったら取ってあげる!』と言って届かないのに台を取りに行き頑張ってる。とっても優しい子どもたちです」と優しい表情で子どもたちを見つめる直子さん。そんな直子さんのことを「仕事もあるのに、家のことは完璧。言うことなしです。子どもと接しているときの笑顔がすてき」と尚さんはうれしそう。「ほめ上手なパパです。助けられます」と直子さんもうれしそう。

「いろいろなことに挑戦して、小さいことにもめげずに、生きる力をつけてほしい」と、これからの子どもたちの成長を楽しみにしていました。

今回は、直子さんのママ友、宮内仁子さん家族をご紹介します。

## Contents

- 02 家族のきずな 山内尚さん・直子さん・大弥くん・壮弥くん
- 03 特集 家族
- 16 まさき文化祭
- 18 Monthly Topics 日展 / 児童生徒音楽発表交歓会ほか
- 20 まちのわだい いも掘り / 福祉ふれあいフェア / レクリエーション大会ほか
- 22 Glory 松前町消防団
- 23 News 23年度上半期の予算執行状況 / ひまわりバスダイヤ改正 / 有料広告募集中ほか
- 28 消防署だより
- 29 Information バドミントン大会 / まちおし演芸名人会 / 人権週間ほか
- 30 まさきでつくる 竹中伸枝さんのシクラメン
- 32 公共施設からのお便り 図書館 / 包括支援 / 公民館
- 34 Smile & Smile 1歳です よろしくね / おうちで給食 / Boys & girls Be, Ambitious! 川村志穂ちゃん / ふるさと歴史散歩
- 36 行ってこーわい 会ってこーわい 北伊予ソフトテニススクール



### 表紙

「1.2.3」お父さんとお母さんに手を引かれ、ジャンプしながら歩く山地航くん。笑顔が素敵な4人家族。今日は松前公園をお散歩です。

●山地誠さん 清夏さん 航くん 佳乃ちゃん

今日も何気なく  
「ただいま」と  
お姉ちゃん、お兄ちゃん、ばーばが帰宅する。  
「おかえり」と、ママと弟が迎える。  
「ママあのね、今日ね、泥んこ遊びしたんだよ」  
「わあ、汗いっぱい。着替えなきゃ」  
「わあ、汗いっぱい。着替えなきゃ」  
「見て見て、卵も全部食べたの」  
と、卵の苦手なお姉ちゃんが  
空っぽのお弁当箱を持ってママのところへ。  
「ほんとからっぽだ。頑張ったね」  
ママはにっこり笑って  
お姉ちゃんの頭をなでる。  
「僕も」  
お兄ちゃんも空っぽのお弁当箱を持って  
ママのところへ急ぐ。  
着替えは途中のままだ。  
「本当だ、すごいね。えらいね」  
ごく当たり前に繰り返される毎日の光景。  
家族との時間。  
先の東日本大震災では、  
その当たり前の日常が奪われました。  
家族の絆の大切さを再認識させられた今こそ、  
「家族」を考えます。



## ●特集

# 家族

# 家族の温かさはどこへ

## おかえり Family

自分が一番大切なものを考えたとき  
ふと誰もの心によみがえったのは「家族の温かさ」。  
家族の元に帰れば、ほっと力が抜けたり  
安心して本音が言えたりするのはなぜでしょう。  
「おかえり」をキーワードに探ります。

### 山積みの課題

家族―。  
人がこの世に生まれてから  
続く、最も基本となる単位で  
す。

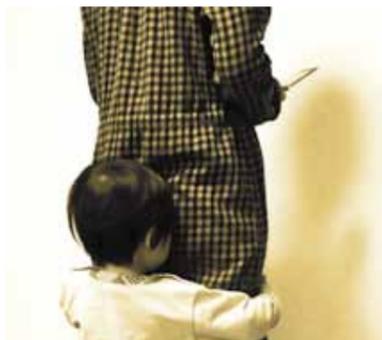
かつて多くの日本人は大家族の中で育ち、おじいちゃん、おばあちゃんなど年長者の暮らしぶりや立ち居振る舞いなどから、人として大切なことを学んできました。

そうした家族の風景は、高度経済成長が始まった昭和30年代以降変わり始めました。農村から都市への人口移動に伴い、都市部を中心に核家族世帯が増加。その後も経済的に豊かになる中で、少子高齢化や晩婚化、晩産化が進み、結婚や家庭に対する意識は多様化。結果、核家族世帯、夫婦だけの世帯や単身世帯が増えてきました。

1世帯当たりの平均人数は、昭和30年ごろまでは5人前後で推移していましたが、平成22年には2・46人まで減少。人口が増加から横ばいへと転じた一方で、世帯数は増えています。

一つ屋根の下で暮らす家族

であっても、テレビゲーム、携帯電話やパソコンなどが普及し、個がより重視されるようになり、家族で過ごす時間は「家族サービス」などという言葉に象徴されるように、わざわざつくらなければならぬものになってしまいました。



内の事件に触れるたび、家族が崩壊してしまったかのような気持ちさえ抱きます。

### 震災後の変化

先の東日本大震災によって、私たちはたくさんものを失いました。その一方で、「家族の絆」の大切さを再認識させられました。

震災や原発問題を通して、「家族」や「ふるさと」に、かつてないほど向き合いました。仕事中心の生活から、家族との時間を大切に行っている人が多くなりました。震災をきっかけに結婚を決断した「震災婚」という言葉も登場しました。

また、以前は家族を側面から支えていた地域社会との関係も、希薄になっています。子どもへの虐待や家族間での殺人事件、DV(ドメスティック・バイオレンス)配偶者や恋人からの暴力(など、連日のように報道される家庭

震災以前の日本は、「核家族化」「育児放棄」「DV」「帰宅拒否症」など、家族を取り巻くキーワードの大半がネガティブな響きの言葉ばかり聞こえる時代になりました。それでも、震災を機に、それぞれが自分にとって一番大切なものを考えたとき、すぐに浮かんだのは「家族の温かさ」ではなかったでしょうか。



「他の誰かじゃだめなんです」  
吉川昇吾さん(27) めぐみさん(27)  
仁瑚ちゃん(1) (恵久美)

「今から帰るよ」  
20時、内子町の職場に勤務する吉川昇吾さんは、職場を出る前に妻めぐみさんにメールします。

「父ちゃん、もうすぐ帰るって」

メールを見ためぐみさんは、一人娘の仁瑚ちゃんに語り掛けます。専業主婦のめぐみさんは、日中を仁瑚ちゃんと二人きりで過ごしています。「この時間が待ち遠しい」とめぐみさん。待ち遠しいのはめぐみさんだけではありません。

せん。  
「ただいま」  
仁瑚ちゃんはすぐに昇吾さんの元へ。

仁瑚ちゃんのにっこり笑顔、めぐみさんの温かい「おかえり」に、昇吾さんの疲れは吹き飛び、心は安らぎます。今年3月までは、別の職場で働いていた昇吾さん。忙しすぎて時間がない上に、夜勤もあるという大変な仕事でした。

「いつもしんどそうで見ているほうもつらかった」と



振り返るめぐみさん。どんなに帰りが遅くても、起きて待つていました。そんなめぐみさんの愛情が、家族の絆を深めていました。

「何も言わなくても、居てくれるだけでいいです。安心するんですかね。何か喋りたくなったら聞いてくれるし、絶対に味方でいてくれる。他

の誰かじゃだめなんです」

昇吾さんにとって、家族はかけがえのない存在。

「家に帰って、一緒に夕食を食べる。当たり前前のことだけど、今、最高に幸せ」とほほ笑む昇吾さん。三人をつなぐ「おかえり」には、愛情、信頼、安心があふれています。

「家族の支えがあるから頑張れます」



大下和也さん(35) 綾子さん(36)  
凛斗くん(小2) 璃音ちゃん(2)  
(西高柳)

反対に夜勤明けに帰ると、旦那が朝食を作っておいてくれたこともありました。その優しさがうれしくて」と綾子さんは幸せそう。

夫婦が仕事のときは、近所に住む綾子さんの両親が子どもの世話を助けてくれていました。

「先日、璃音が水ぼうそうにかかって。1週間は休まなくちゃいけなかった。でも、主人も私も仕事が終わらない。両親に見てもらって本当に助かりました」と感謝します。

璃音ちゃんの保育園の送り迎えは綾子さんの担当。でも、和也さんが休みのときは和也さんがしてくれます。他にも、洗濯をしてくれたり、時々ご飯も作ってくれたり、協力的です。そんな両親や祖父母の姿を見ている子どもたち。できることは自分で頑張っています。

「周りの理解がなければやっていけない仕事だなんて感じていません。家族の支えがあるから頑張れます」

綾子さんの家族には、言葉ではない「おかえり」があります。そこには、助け合い、支え合う家族の姿がありました。



看護師として松山市の病院に勤務する大下綾子さん。小学2年生の凛斗くん、2歳の璃音ちゃんを持つ、2児の母です。

今でこそ、育児のため短時間勤務をしていますが、璃音ちゃんが生まれるまでは、夜勤のある3交代勤務。夫和也さんの

心の居場所

話を聞いた2組の家族。家族間の「おかえり」の中には、愛情、信頼、支え合い、助け合いや安心がありました。それは、「家族」に欠かせないかけがえのないもの。

震災で子どもを亡くした親が、ニュースで「もう一度だけいまという声を聞きたい」と話す場面がありました。当たり前の毎日などないのかもしれない。身近な宝物に気付いていますか？

次の手紙は、今年9月25日から10月1日まで、小学生が家族と離れて暮らす「まさきっこチャレンジ合宿」で、最終日に親から子に宛てられた手紙の一部です。1週間も家族が離れるのは、子どもにとっても親にとっても初めてのことで、親は、「おかえり」と言って迎える子どもがいない中で何を考えたのでしょうか。そこには、先の2組の家族同様、いつの時代も変わらぬ「家族に欠かせないもの」がありました。

家族の「おかえり」にほっとするのは、心の通う「心の居場所」だからです。

●まさきっこチャレンジ合宿 親から子への手紙より

「私の大切な子どもへ」

ひなたへ  
正直寂しかったでしょう。でも、寂しい思いをしたのはひなただけではないですよ。お父さんはひなたの「おかえりー」の声がないさみしさ。お母さんは食事や洗濯の時、ひなたの分が足りないさみしさ。しおんは何をするにも一人でしないといけないさみしさがありました。でもみんな寂しさを乗り越えて強くなったと思います。 谷口純子

志晃へ 清斗へ  
お母さんはきっと兄ちゃんが助け合いができるやさしい兄ちゃんになっていると思います。清くんはやさしい子だから、ちゃんとできたと、お母さんは思っています。知花もお母さんもすごくさみしかったし、困ることもいっぱいありました。帰ってきたら、二人でお母さんを助けてね。 青井由香

あやちゃんへ  
あやちゃんが「合宿行きたい」っていった時、ママは少しびっくりしたよ。のんちゃんがさみしがるのはもちろんだけど、それよりもママのほうが寂しいって、あやちゃんはきっと思いもしないかな。ママはがんばっているあやちゃんをずっと見ているよ。時々甘えていいからね。 壬生美央

あーちんへ  
おうちでは、火曜日の朝、じいちゃんがポツリ…「あかりは何しよるかな…」とつぶやきました。あーちんとじいちゃんとママの3人がそろって家族なんだとあらためて思いました。 渡部文

明楽くんへ  
お母さんは明楽といるとすごく楽しい気分になります。嫌なことがあっても、明楽と話していると落ち込むのがつまらない事のように思ってきます。明楽はお母さんや、まわりの皆に愛情を返してくれています。ありがとうございます。私は明楽くんのお母さんになれてうれしいよ。 岩崎みさか



「ほっとけんかったんよ」  
塩見静子さん(87) (神崎)  
紺堂詩織ちゃん(小4) 光咲ちゃん(小2)



# もう一つのおかえり Community

核家族が増え、共働き家庭が増える現代。  
「家族」だけでは「おかえり」が、満たされません。  
それが、地域コミュニティーという身近な場所での  
「もう一つのおかえり」。  
2組の家族を紹介します。

「ばあちゃんのしわしわの手が大好き」と手を取り合う紺堂詩織ちゃんと光咲ちゃん。二人がばあちゃんと呼ぶ塩見静子さんは、本当の祖母ではありません。両親が共働きの二人。母智美さんの紺堂仕出し屋が静子さんの塩見商店の隣だったことがきっかけで、静子さんが二人の面倒を見ることになりました。

智美さんは「詩織をベビーカーで店に連れて行ってました。詩織は泣いてばかりだけど仕出し準備もしなくちゃいけない。どうしたらいいかわからないでいたときに、お店をのぞいたばあちゃんが『見

「ばあちゃんの手がしわしわの手にて、涙が出るほどうれしかった」と振り返ります。静子さんは「かわいい顔くしゅくしゅにして泣いとるのを見たらほっとけんよ」とにっこり。以来、詩織ちゃん、妹の光咲ちゃんも静子さんが子守りをしました。

「上の子を乳母車に入れて、下の子をおんぼして店番したもんよ」

静子さんの子守りで大きくなった二人にとって、静子さんはかけがえない存在です。「敬老の日には私にもプレゼントくれるんよ。この子ら器用よ。これ」と袋のリボン指さす静子さん。プレゼントの袋も大切に飾っています。

智美さんの職場が変わった今でも、週に1度の集団下校日は静子さんのお店に帰る二人。水曜日、15時になると、「そろそろか」と店の入口を見つめる静子さん。

「あの子らは後ろのほうからとこと帰ってくるんよ」

二人のことは誰よりもよく知っています。「帰った帰った」という静子さんの優しい言葉のすぐ後に、「おばあちゃんたいまー」と元気な二人の声が店に響きます。

「はい、おかえり」

2軒の店の絆が生んだ「おかえり」は、家族の「おかえり」と同じようにすてきです。

松前小学校で、新1年生になる保護者を対象に「子育てについて」講演をする笹山さん



自宅の習字教室。習字以外にも得るものが多いこの場には、地域の心の居場所として大勢人が集う



主任児童委員の先輩ママに聞く

子どもを抱きしめていきますか。

今、全国で虐待についての相談件数が増加しています。相談者の中には「私も親にたたかれて育ったから、どうしたらいいかわからない」という人がいます。

子は親を見て育ちます。子どものときの環境が、自分が親になったときに影響することだってあります。「ただいま」といったら「おかえり」と聞こえる家で育った私は、自分もそういう家族をつくりたいと思ってきました。もし「おかえり」が言えないとしても、「おかえり」と書いたメモを置くなどの工夫はできます。ものじゃなくて、お金じゃなくて、愛情をもらった記憶は人の心に残ります。子どもの頃に感じた肌の温もりは、優しさや思いやりを教えてください。

幼稚園や保育所の子どもたちは、親の迎えを今か今かと待っています。なのに「はよ靴はいて、遅れる」などと言っていないですか? 「おかえり」「ぎゅっ」が先です。低学年の子どもなら、無事に家に帰っただけでも「おかえり。えらかったね」と褒めて抱きしめてあげてください。

高学年になると、人に甘えを見られるのが恥ずかしい子もいるでしょう。中学生、高校生になれば、運動会でさえも「見にこんとって」と言うかもしれません。でも私は行きます。私の子ですから。影からでもいいから、そっと見てあげてください。子育ては大変です。でも、人任せにしたり、投げ出したりできるものではありません。ずっと見守ってあげてください。

ときに親は、子が言うことを聞かず「あなたのためにしてるのになんで」と言います。でも、子どもは子どもなりに親の顔を見ています。例えば、帰って来ないからごはんを作らないじゃなくて、ごはんを作り続けてください。「あなたのために作っている」と見せて、帰る場所をつくってあげてください。非行に走るの、心が寂しいからです。ものじゃありません。自分の心の居場所を探しています。自分を認めてくれる人、分かってくれる人を探しているんです。目の前の子どもが悩んだら、まず抱きしめて、そして話を聞いてあげてください。



写真: 長女の福山由恵さん(26)と、孫の里緒奈ちゃん(5) 真聖くん(3) 淳親くん(2ヵ月)

## 笹山伊智代さん

松前町主任児童委員 (49) 筒井

現代が生んだ「おかえり」  
ファミサポは、かつての地縁機能に代わる相互援助活動を組織化したものです。昔はどこにでもいたおせっかいおばさんと、地域とのつながり方が分からない家

域で「おかえり」を補ってらつて2組の家族。そこには、昔ながらの付き合いや温かい人情が残っていました。かつては大家族主体で、親の面倒や子の面倒は家族が見ていました。また、家族が困れば、近所で手伝うのはごく当たり前の光景でした。「おかえり」は近所で補えたのです。ところが、家族は多様化し、地域コミュニティは希薄化し、近所で支え合う機会は減ってしまいました。機会が減れば減るほど、地域とのつながり方が分からない家族が増えていきます。

塩見さんと紺堂さんのように隣近所が協力して子育てをしている関係は、今ではほとんどありません。そこでできたのが、藤岡さんと山地さんが利用しているファミサポでした。

地域で「おかえり」を補ってらつて2組の家族。そこには、昔ながらの付き合いや温かい人情が残っていました。かつては大家族主体で、親の面倒や子の面倒は家族が見ていました。また、家族が困れば、近所で手伝うのはごく当たり前の光景でした。「おかえり」は近所で補えたのです。ところが、家族は多様化し、地域コミュニティは希薄化し、近所で支え合う機会は減ってしまいました。機会が減れば減るほど、地域とのつながり方が分からない家族が増えていきます。

隣近所の助け合いの減少

ファミサポは、かつての地縁機能に代わる相互援助活動を組織化したものです。昔はどこにでもいたおせっかいおばさんと、地域とのつながり方が分からない家

域で「おかえり」を補ってらつて2組の家族。そこには、昔ながらの付き合いや温かい人情が残っていました。かつては大家族主体で、親の面倒や子の面倒は家族が見ていました。また、家族が困れば、近所で手伝うのはごく当たり前の光景でした。「おかえり」は近所で補えたのです。ところが、家族は多様化し、地域コミュニティは希薄化し、近所で支え合う機会は減ってしまいました。機会が減れば減るほど、地域とのつながり方が分からない家族が増えていきます。

塩見さんと紺堂さんのように隣近所が協力して子育てをしている関係は、今ではほとんどありません。そこでできたのが、藤岡さんと山地さんが利用しているファミサポでした。

地域で「おかえり」を補ってらつて2組の家族。そこには、昔ながらの付き合いや温かい人情が残っていました。かつては大家族主体で、親の面倒や子の面倒は家族が見ていました。また、家族が困れば、近所で手伝うのはごく当たり前の光景でした。「おかえり」は近所で補えたのです。ところが、家族は多様化し、地域コミュニティは希薄化し、近所で支え合う機会は減ってしまいました。機会が減れば減るほど、地域とのつながり方が分からない家族が増えていきます。

家族をサポートすることで、地域とのつながり役をしています。

現在、サポート会員は34人。すでに登録をした利用会員は500人を超え、年々依頼の数が増えています。それはつまり、おせっかいおばさんになりたい人、おせっかいおばさんを求める人、そして、地域とのつながりを求めている人がたくさんいるということ。そして、制度を利用しなければならぬほど、地域とのつながりをつくるのが難しくなったことを意味します。

ファミサポは、現代が生んだ「もう一つのおかえり」のカタチ。地域とつながるはじめての一步になる役目を果たしています。たくさんさんの家族に寄り添い、家族と地域をつないでいます。

どんなに居心地のいい家族ができて、それらを取り巻く環境が温かくなければ、安心して暮らすことはできません。昔のように隣近所の結び付きが強く、地域が一つの家族のように暮らしていた時代の良さを見直さなければいけないときです。それが本来あるべき「もう一つのおかえり」のカタチ。心の居場所である家族を築くためには、地域のつながりの再生が欠かせません。

ファミサポに込める思いをコーディネーターとサポート会員に聞く



「居心地がいいんだらうなと安心しています」

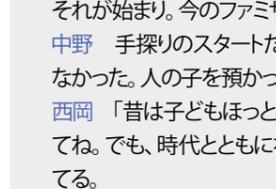
山地清夏さん(29) 航くん(3)  
佳乃ちゃん(1) 藤岡智文さん(54)



(筒井)

「おばちゃん、おはよう」「おはよう。待ってたよ航くん、佳乃ちゃん。今日も一緒に遊ぼうね」  
航くんの元気なあいさつからファミサポサポート支援は始まりました。ファミサポは、地域で育児について援助を受けたい人(利用会員)と援助を行いたい人(サポート会員)が会員登録して、助け合う制度です。  
航くんと佳乃ちゃんはまるで近所の親戚の家に遊びに来たかのように。佳乃ちゃんは嫌がることなくサポート会員の藤岡智文さんに抱っこされます。  
智文さんにサポートをお願いしているのは、山地清夏さん。月5日の勤務日に、智文さんの家に二人を預けます。  
智文さんは「預かるときは、ケガのないようにと責任を感じますが、やっぱり子どもと過ごす時間は幸せです。お母さんにその日の出来事を報告しながらお話しするのも楽しい」とうれしそう。  
山地さんは「仕事が終わって迎えに行く、泣きながら駆け寄りてくるわけでもなく、にっこしながら『おかえり』って言う航くん、藤岡さんの腕の中でぐっすり眠っている佳乃を見ると、『居心地

がいいんだらうな』と安心していきます」とにっこり。子どもたちをきっかけに、二人は自然に信頼関係を深めています。  
智文さんが会員登録したきっかけは、「自分の子育てのときに、たくさんの人に支えられてきました。今度は私が、少しでも地域の家族のお手伝いできたらと思う」と、照れくさそうに話します。  
一方、清夏さんは、「主人も私も両親が近くにいないので、頼れる人がなくて。一時保育も考えたけど、ただでさえ親が仕事して子どもが不安定なのに、集団保育は心配で。その点ファミサポは家族のように見てくれるのがいいなと思って」と話します。  
智文さんの家は、清夏さんの家から近いところにあります。清夏さんは、「身近な地域で子どもを見てくれる藤岡さんは、何でも相談できる近所の親戚のような存在です。藤岡さんに出会う前と今では安心感が違います。子どもたちが大きくなったら、私もサポート会員として誰かの家族を手伝いたい」と微笑みます。  
子どもたちをきっかけに生まれた「おかえり」には、地域の信頼や温かい心の広がりが見えます。



元コーディネーター(宗意原保育所長) 西岡真理さん

西岡 ファミサポの始まりは中野さんやっだね。「子どもを見たいんです」って来て。中野 私自身、子育てに苦労して、子育ての先輩に助けられたから。頼る人がなくて悩む家族を助けたくて。西岡 そのあと、子育て支援センターに「子どもを見てほしい」と相談があつて。仕事で見られないんじゃないかと、いろいろな事情で見られないお母さんだった。そのときに中野さんを思い出して橋渡し。それが始まり。今のファミサポになったのは平成13年から。中野 手探りのスタートだったよね。決めてみんなが肯定的ではなかった。人の子を預かって、お金もらうなんて。西岡 「昔は子どもほついても近所で遊びよつたんやけん」ってね。でも、時代とともに社会は変わる。世間は安心安全を求めている。高木 実際、悩んでいるお母さんはいっぱいいるよね。働かないとやっていけなかったり精神的な問題を抱えてたりする時代よね。西岡 働く家庭の援助だけでなく、家庭で子育てをしているときの援助、いろいろあるよね。高木 近所での子育てもファミサポも家族の一人を、一つの家庭を大事に支えるというのは変わらないね。困っている家族がいたら、じっくり話を聞いて、どう寄り添ったらいいかを考える。西岡 今は近くの人と関係がつかない人もいる。子どもにとって親ではない第三者の大人との関わりはすごく大切。中野 子どもを預けたお母さんの中には後ろめたい気持ちになる人もいる。でも一時、自分から離すことで子どもを見

つめ直すことができる。迎えに来るとき「早く会いたい」と走ってくるお母さんも…。高木 サポーターさんは身近で頼れる存在。家族と保育行政の隙間を埋める存在だと思う。そして何より子どもが大好きで、子育ての大先輩。助かった人がたくさん。サポーターさんは松前の母・おばあちゃんかな。西岡 でも、料金が発生することで中には利用しづらい家庭も。ファミサポに頼るだけでは、完璧に隙間を埋めることはできないね。高木 援助の相談のときには、どんな援助が必要なのかお母さんたちのSOSの声を傾ける。お金もかかることなので、身近な人の中に子育てのサポートができる人がいないかももう一度一緒に探してみるのもコーディネーターの役割。困ったときは遠慮なく声に出してほしい。中野 「家族」の中で悲惨な事件が起きる現代だけど、いつの時代も子どもは地域の宝物。子どもは誰もが愛情を注がなきゃ。それから、親が元気でなければ子どもも元気になれない。おせっかいと言われるかもしれない。でも、かつて日本にいた近所のおせっかいおばさんのような存在でありたいと、この仕事を始めたときから思ってた。サポート最終日、泣いてくれた子がたくさんいる。お母さんも、こんなうれしいことある? 「おばちゃんこれで最後じゃないけん」って言って私も泣いた。お父さんお母さんにはなれないけど、安心できる心の拠り所でありたい。親子に寄り添うのが私たちの幸せ。



コーディネーター 高木結香さん

つめ直すことができる。迎えに来るとき「早く会いたい」と走ってくるお母さんも…。高木 サポーターさんは身近で頼れる存在。家族と保育行政の隙間を埋める存在だと思う。そして何より子どもが大好きで、子育ての大先輩。助かった人がたくさん。サポーターさんは松前の母・おばあちゃんかな。西岡 でも、料金が発生することで中には利用しづらい家庭も。ファミサポに頼るだけでは、完璧に隙間を埋めることはできないね。高木 援助の相談のときには、どんな援助が必要なのかお母さんたちのSOSの声を傾ける。お金もかかることなので、身近な人の中に子育てのサポートができる人がいないかももう一度一緒に探してみるのもコーディネーターの役割。困ったときは遠慮なく声に出してほしい。中野 「家族」の中で悲惨な事件が起きる現代だけど、いつの時代も子どもは地域の宝物。子どもは誰もが愛情を注がなきゃ。それから、親が元気でなければ子どもも元気になれない。おせっかいと言われるかもしれない。でも、かつて日本にいた近所のおせっかいおばさんのような存在でありたいと、この仕事を始めたときから思ってた。サポート最終日、泣いてくれた子がたくさんいる。お母さんも、こんなうれしいことある? 「おばちゃんこれで最後じゃないけん」って言って私も泣いた。お父さんお母さんにはなれないけど、安心できる心の拠り所でありたい。親子に寄り添うのが私たちの幸せ。

# みんな誰かの おかえりの場所に Hometown

当たり前家族と過ごす毎日の尊さ、「おかえり」のある尊さに気付いていますか。

「おかえり」には、愛情、信頼、支え合い、助け合い、安心や思いやりが入っています。

そういう「おかえり」で育った心は、地域に帰ってきます。

白血病と闘った河合凌太郎くん(小5)。2歳3カ月のときに発病。家族の愛に見守られながら、つらい抗がん剤治療を乗り越えました。今は、皆勤賞をとるまでに元気になり、「まさきっこボランティアセンター」で地域のために活動しています。

妙子さんの手編みの帽子をかぶって。凌太郎くん2歳7カ月のとき



かけがえない家族の誕生

「凌太郎が生まれたとき、病院の窓から見える土手の桜が満開でね。きれいだなーって思ってた」

平成13年4月1日4時1分。凌太郎くんは生まれました。3725グラム。体だけでなく、泣き声も大きな子どもでした。

「他の子が泣くんでって新生児室から返されて。私のベットの横にいて二人でお花見気分でした」  
よく笑いよく泣く凌太郎くん、家族の誰もが癒されました。

## 白血病と診断

凌太郎くんが2歳3カ月の時、家族に衝撃が走ります。海で元気に遊んだ日。家に帰り、凌太郎くんの様子がおかしいことに気付いた妙子さんは、救急病院へ急ぎました。病院で待っているときに、針でつづいたように出血斑が全身に出て、お腹が膨らんでいました。

「結果が出る前から、何か悪い病気だと思った」

妙子さんの不安は的中。「すぐに県病院に行ってください」と促されました。そのまま真夜

中の県病院へ。

「小児白血病です」  
医師から告げられた病名に家族は皆、頭の中が真っ白でした。

一つのベッドで毎日抱きしめて

検査の結果は「急性リンパ性白血病」。2万人に1人の病気で、あること、リンパ性は白血病の中でも一番治る確率が高いことなどの説明がありました。治る確率が高いと言われても、不安は募るばかりでした。

小さい凌太郎くんのため、妙子さんも一緒に入院。一つのベッドで、毎日凌太郎くんを抱きしめて眠りました。真吾さんは仕事帰りに必ず駆け付け、おじいちゃんおばあちゃんも毎日見舞いにきました。ばあちゃんは遠い県病院までの道のりを自転車できたこともありました。

そんな家族の愛に見守られながら抗がん剤を投与するつらい治療が始まりました。つらさに堪えかねて泣き叫ぶ凌太郎くんを見て、真吾さんは何度も心の中で「代わってやりたい」と願い、じいちゃんは「大丈夫、絶対直してやるからな」と誓いました。

薬は、オブラートに混ぜて注射器に入れて飲ませました。苦い薬に凌太郎くんは暴れまわって拒否。看護師は皆、その暴れように戸惑いました。

「私にしかできない」  
妙子さんはベッドに凌太郎くんを寝かせ、上から押さえつけて飲ませました。最後まで妙子さんにしかできませんでした。9カ月間、妙子さんは凌太郎くんに寄り添い続けました。

妙子さんのたくさんの友人も、心配して見舞いに駆け付けてくれました。「大丈夫だよ」と声を掛けてくれる友人たち。あんなに不安だった気持ちは、不思議なほどに消えていきました。

## 家族の愛に動く

定期的な寛解治療を繰り返しながら、凌太郎くんは順調に回復。15年3月、幼稚園の入園目前の春に退院。「みんなに見せる」と言って、凌太郎くんは幼稚園の制服を着て病院を後にしました。

幼稚園の入園のときも、妙子さんは奮闘しました。白血病の子どもの入園を多くの幼稚園に断られていたのです。

「凌太郎頑張っているのに」  
エンゼル幼稚園のクラス役員決めるとき、妙子さんは全保護者に言いました。「うちの子は白血病です。皆さんに知ってもらいたくてお話しします。私も幼稚園での凌太郎の様子を見たいので、私、役員します」と。保護者も先生も、誰も断りませんでした。

元気に駆け回り、すくすく成長した凌太郎くん。白血病に「完治」はありませんが、退院して5年すれば「寛解」といわれます。これは、発病しないということと意味します。その寛解から3年。凌太郎くんは幼稚園を二度も休まず卒園し、小学5年生の今、学校を休んだのは1日だけです。

## 今度は僕が助けたい

凌太郎くんは今、ボランティアに取り組んでいます。4年生の時、「いきいきまさきっこボランティアの募集」を見て「やりた」と一言。凌太郎くんはずっと思っていたことがあったのです。

「僕は病気になって苦しんだけど、みんなに助けてもらって今は元気になった。だから今度は

は、苦しんでいる人を僕が幸せにしてあげたい」

いきいきまさきっこボランティアではさまざまな活動に参加しています。ひまわりの種植え、川清掃、まさき文化祭ではフライドポテトを販売しました。

「凌太郎がやりたいことは、何でもやらせてあげたいと思っています。どんな地域に出て、いろんな経験をしてほしい」と話す妙子さん。地域で生き生きと活動する凌太郎くん。文化祭の日、そんな凌太郎くんを陰で見守っている妙子さんの姿がありました。ただ何でもやらせるのではなく、いつもそっと見守る妙子さん。そんな妙子さんがいるからこそ、凌太郎くんは積極的に地域に出ていきます。

生まれてきてくれてありがとう

昨年、凌太郎くんもチャレンジ合宿に参加しました。最終日には妙子さんから「私の大切な子どもへ」と題して手紙が送られました。そこには凌太郎くんが涙し、心に刻んだ言葉があります。

「小さな子やまわりの人にや

通学合宿中、妙子さんから凌太郎くん宛てられた手紙



「生まれてきてくれてありがとう」

さしくできる凌太郎をお母さんは、ほこりに思っています」

自分が誰かにとつてかけがえの存在であると感じれば、誰だつてうれしくなります。見守ってくれていると感じれば安心します。認めてもらえれば、それだけで生きる力になります。

妙子さんは、凌太郎くんが生まれてから1日も欠かさず続けていることがあります。それは、「生まれてきてくれてありがとう」と凌太郎くんを抱きしめる

こと。そこには言葉ではとても表現できないほど大きな家族の愛があります。この話を聞く前に、凌太郎くんに妙子さんの好きな所を尋ねていました。恥ずかしくもない表情を見せた凌太郎くんの口から出た言葉は「毎日抱きしめてくれるところ」でした。

思いやりの心は思いやりを受けて育ちます。凌太郎くんに注がれ、育まれた思いやりの心は、地域に帰ってきています。

河合妙子さん(43) 凌太郎くん(小5)



家族の「おかえり」の尊さに  
 気付いていますか  
 地域の「おかえり」の大切さを  
 知っていますか  
 あなたが「おかえり」と  
 言える場所を持つということは  
 誰かの「ただいま」と言える場所を  
 つくっているということ  
 さあ、  
 「おかえり」でつくる  
 家族のようなまちへ

## 幸せな地域づくりの 原点がここにある

愛情、安心、信頼、支え合い、助け合い、思いやりなど、  
 いろいろな温かさが詰まった「おかえり」。  
 そういう「おかえり」で育まれた心は地域に帰り、  
 やがて地域は「おかえり」でつながっていく。

家族間の「おかえり」。地域  
 コミュニティーという身近な場  
 所での「おかえり」。どちらの「お  
 かえり」にも、愛情、安心、信頼、  
 支え合い、助け合いや思いやり  
 などが入っています。凌太郎く  
 んに代表されるように、そうい  
 う「おかえり」で育まれた心は、  
 地域に帰ってきます。やがて地  
 域は「おかえり」でつながって  
 いきます。それは、「みんなが  
 誰かのおかえりの場所」になる  
 ということ。

どんなに社会が変わっても、

いつの時代も家族はかけがえの  
 ないもの。家族と過ごす毎日の  
 時間は、当たり前ではありませ  
 ん。家族の「おかえり」の尊さ  
 に気付いていますか。家族みん  
 ながこのまちで幸せに暮らすた  
 めに、今、家族に対してあなた  
 は何ができますか。

仕事で子どもの帰りを迎えて  
 あげられないお父さん、「おか  
 えり」は言えなくても、ぎゅつ  
 と抱きしめることはできます。  
 お母さん、「おかえり」と一言  
 添えてごはんを置いておくこと  
 もできます。

また、どんなに居心地のいい  
 家族ができて、それらを取り  
 巻く地域の環境が温かくなけれ  
 ば、決して安心して暮らすこと  
 はできません。

地域の「おかえり」の大切さ  
 を知っていますか。地域に対し  
 てあなたは何ができますか。

地域の皆さん、下校している  
 子どもたちに「おかえり」と声  
 を掛けてあげてください。

あなたが「おかえり」と言え  
 る場所を持つということは誰か  
 の「ただいま」と言える場所を  
 つくっているということ。

幸せな地域づくりの原点は、  
 幸せな家族づくりにあります。

# 第36回まさき文化祭

まさき文化祭は10月29、30の両日、松前総合文化センターを主会場に開催され、大勢の人が芸術の祭典を楽しみました。



満面の笑顔でジャズ体操を披露した子どもたち

上\_力作が並んだ作品展。2日間で大勢の人が訪れました



上\_神崎の獅子は客席へ。あまりの迫力に子どもたちは後ずさり  
右\_はる風グループは加工食品など販売



上\_毎年恒例になってきたバルーンアートのミントさん。すご技と楽しいおしゃべりに集まる子どもたち

左\_舞踊でありながら、モダンな衣装で軽快なステップを踏み、ダンスのような演技を披露した伊予民踊の「ベイサイドブギ」

下\_力強い唄で観客を魅了した「石投甚句」



右\_和太鼓の演奏前に元気いっぱい曲紹介をした鼓太郎教室の子どもたち。会場からは「かわいい」の大合唱。



右\_フィナーレでは、出演者やスタッフがステージに集まり、観客と一緒に「上を向いて歩こう」を合唱



10時30分、庁舎前特設ステージでオープニングセレモニーが行われ、文化祭は開幕。ステージでは▼獅子舞競演会▼ちんどん屋パフォーマンズ▼ゴスペルライブーなど、多彩なイベントが行われ、祭りを彩りました。

特設ステージ周辺にずらりと並んだテントでは、またまえ町の特産品のほか、地元の特産品や手作りの食品などが販売され、2日間とも朝早くから大勢の人でにぎわいました。

文化センター広域学習ホールで行われた芸能発表会には、延べ596人が参加。伊予万歳、コーラス、ジャズ体操など、町内で活躍するさまざまな団体による発表の数々が、2日間会場を沸かしました。

文化センター各フロアで行われた作品展示会には、愛好家による絵画、手工芸や写真など2177点の作品が集結。個性あふれる作品の数々は、訪れた人の心を揺さぶりました。

「2011はじける!とび出す!響きあう!まさき文化の大合唱」をテーマに開催された今年の「まさき文化祭」。そのテーマの通り、演技や作品を披露した人、舞台裏で支えた人、参加した人など、全ての人の想いが響き合っており、まさき文化の輪を大きく広げました。



右\_満田泰三文化協会会長も見事な伊予万歳を披露



上\_息びつりの太極拳を披露した皆さん 左\_美しいハーモニーで会場を包んだ岡田カトレアコーラス





### 中川原集落に農林水産大臣賞 平成 23 年度豊かなむらづくり表彰

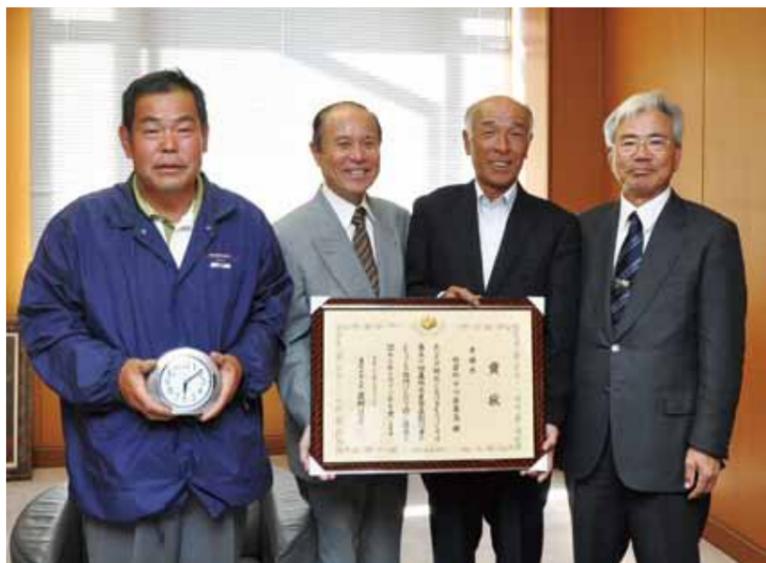
平成 23 年度「豊かなむらづくり」表彰式は 10 月 31 日、岡山県で開催され、中川原地区（弓達武範区長）が農林水産大臣賞を受賞しました。

この表彰は、農林水産省が農林水産業の振興、生活環境の改善、地域文化の継承などに地域ぐるみで取り組んでいる地域づくりの優良事例を表彰することで、地域の活性化を図っていくことを目的に実施しているものです。

中川原地区は、転入世帯の増加する中で、農家が主体となった地域づくりを行っています。農事組合法人中川原を設立し、農地を利用集積。環境保全型農業の取組みと米の全量予約販売により、次世代への水田農業を受け継ぐ体制を構築しています。

また、湧水の流れる農村環境を守るため、ごみの 45 種類に及ぶ分別・回収を行うリサイクル活動やひまわり栽培、子どもを主体とした各種行事を通じて、転入世帯との新たな絆を結ぶなど、地域の特色を生かした幅広い活動をしています。

今回の受賞では、そうした地域独自で創意工夫した点や、その活動を地域づくりに有機的に組み込んだことが高く評価されました。



①町長を表敬訪問し受賞を報告した中川原地区の代表者の皆さん ②住民手作りのリサイクルセンター ③ひまわり祭



### 渡邊裕公さんが「日展」特選を受賞 第 43 回日展洋画部門

日本を代表する公募美術展覧会「日展」(日本美術展覧会)。本年度開催の第 43 回洋画部門で、渡邊裕公(本名・博明)さん(60)＝筒井一が特選に選ばれました。全国 2,136 点の作品から 10 点だけ選ばれた特選。104 年の歴史で、愛媛県で 2 人目、松前町では史上初の快挙。

今年 3 月に中学校の美術教諭を退職した渡邊さん。現在は日展会友として寺坂公雄(日本芸術院会員)に習い、一貫して人物画を描いています。また、光風会会員、同愛媛支部事務局長として県内を巡り、後進の育成にも努めています。

受賞作品「凛と」は、ボールペンだけを使う独自の手法で描写した人物像。「的確な描写力で表現され、ボールペンを使用した独特の雰囲気が見事に醸し出された秀作」と評されました。

28 歳で初出品・初入選を果たすなど、過去に 24 回入選の実績がある渡邊さんですが、特選は遠い存在。「師のアドバイスもあり、納得のいく作品を描くことができた。受賞の知らせを受け、涙が止まらなかった。ボールペンで点と線を色面にする技法が認められたことをうれしく思う」と感慨深げ。1 日平均 7 時間キャンパスに向かうと話す渡邊さん。常に高い目標を持って前を見ます。「1 度の特選では本物とは言われない。2 度目の特選を狙う」と決意を新たにしていました。



④日展洋画部門・特選受賞作品「凛と」100 号 ⑤キャンパスに向かう渡邊さん。ペン先 0.3 ～ 1.0 ミリのカラーボールペンだけを使う独自の手法で、繊細な絵を描いていく



渡邊さんのアトリエにて

#### ●日展(日本美術展覧会)

明治 40 年に創設された文展、帝展、日展と続く、日本を代表する美術展覧会の一つ。公募展の中では最高の権威を持ち、日本画と洋画、彫刻、工芸美術、書の 5 科がある。本年度は 5 科で 14,078 点の応募があり、特選 50 点、入選 2,322 点が選ばれた。



### 子どもたちが音楽で交流

2011 まさきちよう児童生徒音楽発表交歓会

「音楽発表交歓会」は 11 月 10 日、松前総合文化センターで開催され、町立幼稚園、小・中学校、ひまわり少年少女合唱団、伊予高校吹奏楽部の皆さんが、多彩な演奏を披露しました。この交歓会は、音楽を通して交流を深めることを目的に開催されているものです。

ステージでは、各学校の出演者が息の合った美しいハーモニーや元気いっぱいの演奏を披露し、客席を埋めた皆さんを楽しませました。トリを飾った伊予高校吹奏楽部は、演奏に魅了された客席から自然に起こったアンコールに応え、ドラマ「マルモのおきて」主題歌「マル・マル・モリ・モリ」など合計 4 曲の演奏で会場を盛り上げました。

岡田中学校 3 年の平磯一馬さんは「どの学校も素晴らしい演奏で、元気をもらった。特に伊予高校の演奏に感動した。これを機に、音楽の力を大切にしていきたい」と笑顔で話していました。



④「マルモのおきて」主題歌をダンス付きで披露した伊予高校吹奏楽部 ⑤松前・古城幼稚園の園児は合同で演奏を披露 ⑥息の合ったハーモニーを響かせた岡田小 5 年生



### 6 種目でさわやかな汗流す

シルバースポーツフェスティバル in まさき

「シルバースポーツフェスティバル in まさき」は 10 月 18 日、松前公園で行われ、大勢の参加者がさわやかな汗を流しました。結果は次の通りです。(敬称略)

- ▶クローケー①鶴吉 ②上高柳 B ▶ターゲットバードゴルフ①堀北光敏 ②津川和之 ③大政農雄 ▶ペタンク①末光剛・松島和夫②窪中ミエカ・大西光子 ③窪中荘三・坪田良子▶バウンドテニス①友田秀謙・野崎智代 ②須之内静子・玉井久男③今井勝・中村葉子 ▶卓球①正島美香子・清水繁子 ②福居宇紘・城戸久美子 ③佐藤澄子・中矢恵美子 ▶グラウンドゴルフ①三好博美 ②木村洋二 ③高村邦子 ④山下茂輝 ⑤中村緑 ⑥巻木エツ子 ⑦富岡修二 ⑧三好正子 ⑨松崎敏行 ⑩山本博信



▼ 11月6日  
心も体もリフレッシュ



「第28回愛媛県レクリエーション大会」は松前公園で開催され、子どもからお年寄りまでが遊びに熱中しました。会場では、輪投げやネイチャークラフトなど約20種目が体験でき、大学生らがボランティアスタッフとしてゲームの進行を行いました。長尾郁和くん(小5)と佑輝くん(小3)兄弟は、けん玉目当てに参加。「教えてもらって技ができるようになった」と、そろって喜びの表情を浮かべていました。

▼ 10月29日・30日  
子どもたちが文化祭の売上金を寄付



まさきこボランティアセンターの子どもたち13人は、まさき文化祭でひまわり油を使ったフライドポテトを販売し、売上の全額25,145円を「こどもの絆プロジェクト」に寄付しました。プロジェクトは、福島第1原発事故に遭った福島の小中学生を愛媛に招待して自然の中で遊んでもらうためのもので、12月25日から1月6日まで今治市や大洲市などの公共施設に宿泊し、地元住民らとの交流や体験学習を行う予定です。

▼ 10月27日  
「おかわり」が止まらない



青葉幼稚園の園児と徳丸農業区の皆さんは、自分たちが育てたお米を食べる「おにぎり大会」を楽しみました。泥だらけになりながら植えたこと、何度も田を訪れ成長を見守ったこと、一生懸命刈り取ったこと。そうした努力が実ったお米の味は、やはり格別。子どもたちは「おかわり」と元気な声を響かせながら、次から次へとおにぎりを食べていました。

▼ 10月9日  
柔道の技と心を競って



「松前柔道会15周年記念少年大会」は愛媛県武道館で行われ、四国内から集まった少年少女の柔道家が熱戦を繰り広げました。大会は、「礼儀正しく、元気よく、力の限り」を合言葉に、池内大貴くん(小6)の選手宣誓でスタート。幼児から小学6年生まで約220人が、日ごろの練習で鍛えた気力と体力の全てを出し合い「一本」をとる柔道を目指しました。幼児の部では松前柔道会の千崎柚希くんが見事優勝しました。

▼ 11月9日  
北中生が幼児とふれあい



北伊予中学校の3年生は、家庭科の授業で保育所訪問を行いました。これは、園児と楽しくふれあい、遊ぶことで、幼児への理解と関心を高めるためのもの。小富士保育所を訪問した14人の生徒らは、この日のために作ったおもちゃを使って遊んだり、外で体を使って遊んだりしながら、幼児とのふれあいの楽しさや喜びを味わっていました。

▼ 11月3日  
美しい歌声を響かせて



10月1日から12月31日まで開かれている県民総合文化祭。このうち、「合唱公演」は松前総合文化センターで開催され、一般や少年少女など県内の合唱団13団体が、美しい歌声を披露しました。フィナーレでは、名曲「ふるさと」を会場全体で合唱。会場は、出演者と来場者の温かい歌声に包まれました。

▼ 10月29日  
福祉ふれあいフェア



松前町福祉ふれあいフェアは、総合福祉センターで開催されました。まさき文化祭に合わせて開催されたこのフェアには、大勢の家族連れらが参加。車いすや絵手紙を体験できるサロン・ボランティアコーナーをはじめ、健康コーナー、交通安全コーナーなど、会場には多くの展示・体験コーナーが設けられ、来場者はさまざまな体験を通してフェアを満喫していました。

▼ 10月20日  
いも掘りの後は綱引きだ



黒田保育所の園児たちと老人クラブの皆さんは、毎年恒例のいも掘りをしました。園児の顔が隠れるくらい大きく育ったおいも。園児らは「大きい!」「こっちの方が大きい!」と大きなおいもを見つけては、お友達と一緒に喜んでいました。収穫後は、いもづるのつるを使って綱引きを行いました。園児とおじいちゃんおばあちゃん、対決を楽しみました。

「第20回全国女性消防操法大会」は10月19日、横浜市で開催され、愛媛県代表として出場した松前町の女性消防団員が、8位に入り、優秀賞を受賞しました。



松前町女性消防団

### 松前町の女性消防団が優秀賞を受賞

第20回全国女性消防操法大会

大会では、機敏な動きとチームワークでホース延長や放水を繰り広げ、55秒07をマーク。タイムだけを見れば、44チーム中5位という好タイムでした。

団員たちは、4月に大会出場を決めて以降、仕事の傍ら、練習を重ねてきました。

指揮者としてチームを牽引した木下公子さんは「平均年齢が48.3歳と、出場隊全体の中で2番目に高い消防隊です。日々の訓練が厳しく、体がつらい時も、訓練に行き詰まった時もありました」と振り返ります。それでも、訓練期間を高い意識で過ごし、故障なく大会を迎えられたのは「仲間が存在があったから」ときっぱり。

団員たちは、常に笑顔を忘れず、選手全員が『全国で上位入賞しよう』という目標のもと、仲間同士で、支え合い、励まし合ってきたといいます。

町消防団の女性団員は、現在11人で活動しており、平時は避難訓練の指導、普通救命講習の指導、防火広報など普及啓発活動が主。男性団員と比べ人目につくことが少ない活動をしています。そんな中で決まった消防団の花形でもある操法大会出場。当初は出場することすら難しいのではという状況でしたが、「普段人目につかない活動を実施している私たちが、自分たちのできることを精一杯やれば、皆さんに感動と勇気をもたらすことができるかもしれない」という思いで、一致団結。見事8位という好結果を残しました。

体長の森美代子さんは「この大会を通じて培われた技術と精神力を、日々の防災活動に役立てていきたいです。男性団員・女性団員ともに、消防団は我が町を守るために努めます」と力強く語り、さらなる精進に決意を新たにしていました。



④表彰式後、山本忠愛媛県消防協会長と一緒に ⑤出場前に、消防協会長から激励を受ける選手たち ⑥大会開会式での整列

#### 女性消防団員募集

堅苦しい雰囲気は一切なし！ 楽しみながら活動しています。18歳以上の健康な女性、町の安全・安心のために一緒に活動しませんか？

●松前消防署庶務係 ☎984-3404

## 松前町の財政事情 平成23年度上半期の予算執行状況

平成23年度上半期（4月1日～9月30日）の予算執行状況をお知らせします。  
一般会計予算総額は、9月末で100億4016万円（前年度に比べ8億7604万9千円増〔9.6%〕）です。

### ●予算執行状況

一般会計の予算執行状況は、収入済額が47億2110万7千円、予算額に対する割合が47%、支出済額が42億3713万5千円、予算額に対する割合は42.2%となっています。  
特別会計、水道事業会計は、下表のとおりです。

### ●地方債などの現在高

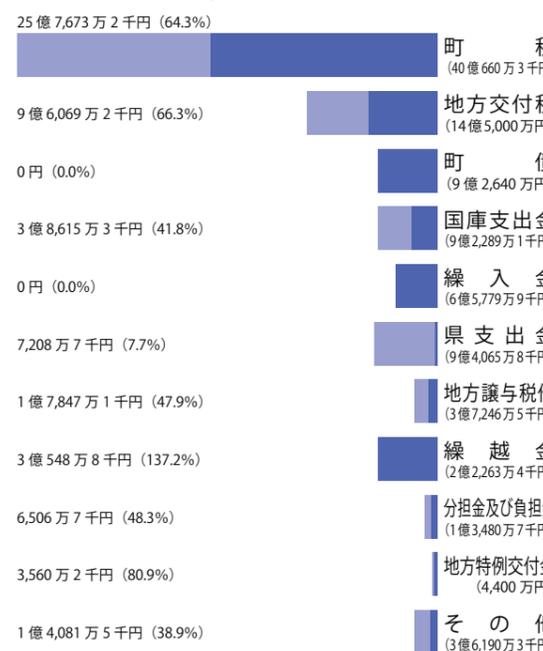
地方債などの現在高は、一般会計が101億1031万円、水道事業会計が24億6960万4千円、公共下水道特別会計が50億2728万2千円となっています。

### ●財政課財政係

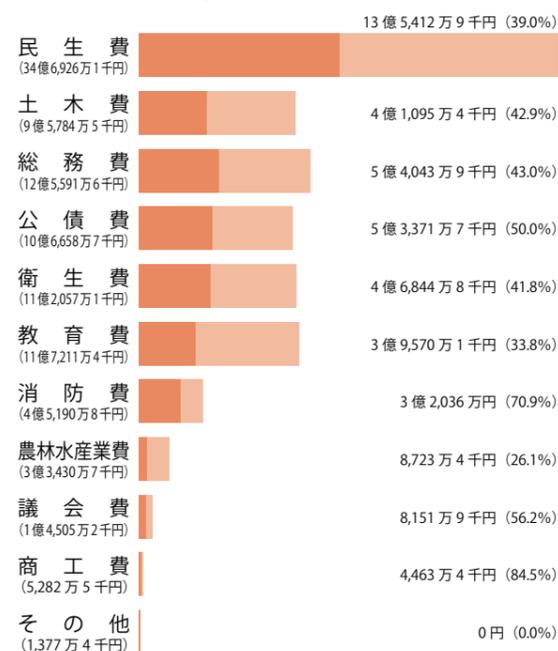
☎985-4101

### ■一般会計 予算額 100億4,016万円

収入済額 47億2,110万7千円（収入割合47%）



支出済額 42億3,713万5千円（支出割合42.2%）



※科目名の下の（ ）内の数字は予算額です。

### ■特別会計

区分	予算額	収入済額	収入割合	支出済額	支出割合
国民健康保険	3,280,674	1,420,197	43.3	1,392,254	42.4
後期高齢者医療	333,086	143,440	43.1	129,027	38.7
介護保険	2,391,634	1,075,896	45.0	978,115	40.9
公共下水道事業	737,208	372,453	50.5	266,995	36.2

### ■水道事業会計（企業会計）

区分	収入予算額	支出予算額	収入済額	収入割合	支出済額	支出割合
収益的収支	364,796	324,665	173,381	47.5	99,963	30.8
資本的収支	495,116	558,976	3,418	0.7	82,767	14.8

### 無料のうちに住基カードを作ろう

松前町は現在、住民基本台帳カード(住基カード)の発行を無料で行っています。

住基カードは、顔写真付きのものであれば、免許証などと同様に公的な身分証明書として利用できます。利用方法としては、

- ・さまざまな場面での顔写真付き身分証明書として
- ・金融機関での新規口座開設や10万円を超える振込みの際に
- ・書留郵便やパスポートの受け取りの際に

写真付きの公的身分証明書を持つていない人は、ぜひ作りませんか。写真もその場で撮ります。

●**無料期間** 平成24年3月31日まで

●**申請に必要な物**

①官公署発行の写真付き身分証明書(運転免許証、パスポートなど)+保険証など ②印鑑

※公的個人認証希望の場合は500円が必要です。

●**受付時間** 平日9時～16時

※身分証明書がない場合は、お問い合わせください。

●**町民課住民係**  
☎985-4105

### 国民年金保険料の収納業務を民間に委託

日本年金機構は、国民年金保険料が納め忘れとなっている人に対する「電話、文書や戸別訪問による納付督促や保険料の収納業務」を民間委託しています。

これは、民間事業者の創意工夫やノウハウを活用して、低コストでより良いサービスの提供をめざす「市場化テスト事業」として導

入されたものです。

松前町担当の受託事業者は、(株)アイヴィジットです。

※23年4月1日現在

●**松山西年金事務所国民年金課**  
☎925-5175  
町民課住民係  
☎985-4106

### 12月1日から ひまわりバスのダイヤを改正

出発場所が役場前になるほか、新たに「フィット前」「塩屋南」「木口内科前」の3カ所にバス停を設けました。

また、年末の運行もスタートします。

詳しくは、新しい時刻表でご確認ください。時刻表は、ひまわりバス車内、役場、東・西・北公民館にあるほか、町ホームページからダウンロードできます。

●**お願い**

最近、バス停付近でバスを待っている人がいます。乗車する際

は、必ずバス停から乗車してください。

●**サンタクロースがやってくる**

12月22日(木)第2便(役場前9時発)と、第5便(役場前13時発)に、サンタクロースが乗車します。

夜のお出掛けに大変役立つ交通安全グッズをプレゼント!

この機会にぜひ最寄りのバス停からご利用ください。

●**町民課コミュニティ係**  
☎985-4228

### 医療費を節約しましょう

国民健康保険(以下、国保)は、みんなで費用を負担し合い、個々の医療費の自己負担を軽減する健康保険制度です。

国保が負担する医療費の主な財源になっているのが、皆さんからの国保税です。医療費が増えると国保税も値上げをしなければならなくなり、家計への負担も大きくなってしまいます。

現在、医療費は年々増加していますが、私たちのちょっとした心掛けで抑えることができます。

#### 医療費を抑えるために

- 1 **お医者さんに上手にかかりましょう**
- 重複受診や、転医をひかえましょう
  - 休日や時間外受診はなるべく避けましょう
  - 適切な用量や用法を守って薬を服用しましょう
  - かかりつけ医や薬局を持ちましょう

- 2 **生活習慣を見直しましょう**
- 食生活を見直し、栄養・運動・休養のバランスある生活を心掛けましょう
  - 定期的に健診を受けて健康管理に役立てください

- 3 **ジェネリック医薬品を積極的に活用しましょう**
- ジェネリック医薬品は、先に開発されている医薬品(先発医薬品)の特許期間が満了した後に発売された薬です。先発医薬品と効き目や成分は同じですが、開発費用などが大幅に抑えられているため、安い価格で提供されています。
  - ※全ての薬にジェネリック医薬品があるわけではありません。ジェネリック医薬品の使用は医師・薬剤師にご相談ください。

●**保険課医療保険係** ☎985-4107

### 平成24年成人式

●**日時** 1月8日(日)13時～(受け付け12時) 記念撮影12時30分)

※記念撮影を先に行います。時間に遅れないよう来てください。

●**場所** 松前総合文化センター 広域学習ホール

●**内容** 記念撮影、思い出のアルバム、抽選会、立食パーティーなど

●**対象者** 平成3年4月2日～4年4月1日生まれで、松前町に住居登録・外国人登録のある人

※対象者には12月上旬にはがきでご案内します。

●**進学・就職などで町外に転出している人も参加できます。希望者はご連絡ください。**

●**社会教育課生涯学習係**  
☎985-4135



### 宝くじ助成事業

宝くじ助成事業で、西高柳地区に祭り用具一式が整備されました。



●**町民課コミュニティ係** ☎985-4228

### 新春年賀のつどい

1/4 水 11時～12時  
松前総合文化センター 広域学習ホール

入場無料

新しい年が、町民の皆さんと松前町にとってすばらしい年になることを祈念して、「新春年賀のつどい」を開催します。初釜も用意しています。ぜひお越しください。

●**総務課広報情報係** ☎985-4132

### 2011松前町第九演奏会

- 日時** 12月18日(日)14時 (開場13時30分)
- 場所** 松前総合文化センター 広域学習ホール
- 入場料** 一般 1,000円 高校生以下 500円

この日のために町民を中心に松前町第九合唱団を結成。ソリスト4人をゲストに迎え、伊予高等学校吹奏楽部の演奏で壮大な歌声を披露します。

- 第一部 カノン「人生を楽しめ」による幻想曲ほか
- 第二部 ベートーヴェン作曲 交響曲第9番 第4楽章【指揮】長谷川公彦
- 【ソリスト】ソプラノ 藤岡葉子 アルト 國廣由佳
- テノール 八木徹雄 バリトン 折河宏治
- チケット販売所 松前総合文化センター ☎985-4139

●☎984-7338(八木) ☎090-9773-1281(麻生)





### 冬の省エネに取り組もう

地球温暖化が深刻化しています。ライフスタイルを見直し、日ごろから省エネに取り組みましょう。

- **エアコン**
  - 室温は 20℃を目安に  
年間で電気 **50.08kWh** の省エネ 約 **1,170** 円の節約
  - 必要なときだけつける  
年間で電気 **40.73kWh** の省エネ 約 **900** 円の節約
  - フィルターを月に 1 回清掃  
年間で電気 **31.95kWh** の省エネ 約 **700** 円の節約
- **ガス・石油ファンヒーター**
  - 室温は 20℃を目安に  
【ガス】年間でガス **8.15m<sup>3</sup>** の省エネ 約 **1,390** 円の節約  
【石油】年間で灯油 **10.22L** の省エネ 約 **780** 円の節約
  - 必要なときだけつける  
【ガス】年間でガス **12.68m<sup>3</sup>** の省エネ 約 **2,160** 円の節約  
【石油】年間で灯油 **15.91L** の省エネ 約 **1,210** 円の節約
- **電気カーペット**
  - 広さにあった大きさを  
年間で電気 **89.91kWh** の省エネ 約 **1,980** 円の節約
  - 設定温度は低めに  
年間で電気 **185.97kWh** の省エネ 約 **4,090** 円の節約
- **電気こたつ**
  - こたつ布団に上掛けと敷布団を併せて使う  
年間で電気 **32.48kWh** の省エネ 約 **710** 円の節約
  - 設定温度は低めに  
年間で電気 **48.95kWh** の省エネ 約 **1,080** 円の節約



**省エネキャンペーン2011 夏応募結果**

	応募数	削減量	二酸化炭素削減量
節電コース	255 件	26,172kWh	10,410kg
ガスの節約コース	35 件	34m <sup>3</sup>	

多数のご応募ありがとうございました。今回は過去最高の応募数でした。二酸化炭素の削減量はガソリン車で地球を2周するとき発生する二酸化炭素の量と同じくらいです。

☎ 町民課生活環境係 ☎ 985-4117

**有料広告募集中** 広報まさき・松前町ホームページに掲載する有料広告を募集しています。広報まさきは、毎月1回、毎号1万1500部発行し、町内の全世帯へ配布しています。町ホームページには月平均約1万4000件のアクセスがあります。希望者は、ホームページに掲載している「広告事業実施要綱」を読み、お申し込みください。

▼ **広告掲載料**  
 1 枠、1 月当たり 2 万円  
 ● 総務課広報情報係(広報まさき) ☎ 985-4132

▼ **広告掲載料**  
 1 枠、1 月当たり 2 万円  
 ● 財務課統計電算係(ホームページ) ☎ 985-4101

● 広報まさきの裏表紙(下欄)、3 枠、大きさ 縦 40 ミリ × 横 60 ミリ、フルカラー)  
 ● 町ホームページのバナー広告(トップページ下欄、7 枠、大きさ 縦 50 ピクセル × 横 200 ピクセル)

**浄化槽の法定検査は受けていますか？**

浄化槽は、定期的な保守点検や清掃とは別に、年1回法定検査を受けることが法律で義務づけられています。

保守点検は、年に数回、機器の点検・調整・修理や消毒薬の補充などといった浄化槽の稼働状況を中心に点検を行うものです。

一方、法定検査は、指定検査機関(愛媛県は(社)愛媛県浄化槽協会)が総合的に判断するための検査です。

保守点検が適正に行われているか、浄化槽がきちんと働いているかを検査します。

保守点検とは目的が異なりますので、必ず受検しましょう。

☎ 上下水道課下水道業務係 ☎ 985-4126  
 (社)愛媛県浄化槽協会 ☎ 925-2661

### 有料広告募集中 広報まさき・町ホームページ

● **議会**

**12月議会**  
 平成23年松前町議会第4回定例会(12月議会)の開会は、12月12日(月)を予定しています。本会議と委員会が傍聴できます。当日、受付で住所・氏名・年齢を記入してください。

☎ 議会事務局 ☎ 985-4130

● **12月滞納整理強化月間**

**地方税の滞納を許しません**  
 県内全市町・愛媛県・愛媛地方滞納整理機構は、12月を一斉滞納整理強化月間として、預金、保険、給与、不動産、売掛金、自動車などの差し押さえを行います。

**平成23年度(10月31日現在)の松前町の差し押さえ状況**

- 不動産 1 件
- 生命保険 22 件
- 預貯金 61 件
- その他 12 件

☎ 税務課管理収納係 ☎ 985-4109

**町有地を売却します**

下記の町有地を一般競争入札で売却します。

▼ **入札日**  
 平成24年1月30日(月)

▼ **申し込み**  
 事前に入札参加申込書を持参または郵送(書留郵便)で提出してください。

▼ **提出期間**  
 12月1日(木)～1月5日(木)までの土・日曜日、祝日を除く9時～17時(必着)

▼ **提出先**  
 財政課入札検査係  
 ☎ 985-4157

①所在地  
②地目  
③地積  
④用途地域

**物件2**  
 ①松前町大字浜字今新開781番27  
 ②宅地  
 ③34.02m<sup>2</sup>  
 ④第1種住居地域

**物件1** ①松前町大字浜字今新開781番15, 16  
 ②宅地 ③99.27m<sup>2</sup> ④第1種住居地域

**正しく分別 かん類**

かん類の対象は、アルミマーク、スチールマークのあるものです。

※マークのない缶は金属類になります。

**かん類の出し方**

**飲料用の缶や缶詰など**  
 中をすすいで、水分をよく切り、容積が小さくなるように、つぶして出す  
 ※たばこの吸殻などを入れないでください。

**スプレー缶、カセットコンロの缶**  
 必ず使いきり、火気のないところで穴をあけてガスを抜いて出す  
 ※ごみ収集中に爆発して火災が発生する事故が起きています。

☎ 町民課ごみ対策係 ☎ 985-4117

かん類の収集日は、毎月第1・3土曜日が原則です。詳しくはごみカレンダーをご覧ください。

ご注意ください

**年末年始のごみ収集・し尿くみ取り**

● **ごみ収集日の確認を**  
 平成23年12月31日(土)から24年1月3日(火)まで、ごみの収集は休みです。その間、ごみステーションにごみを出さないようお願いします。1月4日(水)は「可燃ごみ」の日です。各戸配布しています『平成23年度ごみ・資源物収集日程カレンダー』を確認してください。

☎ 町民課ごみ対策係 ☎ 985-4117

● **し尿くみ取り依頼はお早めに**  
 年末年始は、し尿のくみ取りの依頼が多く、混雑が予想されます。早めに松前清掃協同組合または直接各社に依頼をお願いします。し尿のくみ取りの予定日も確認してください。

松前清掃協同組合 ☎ 985-0207 瀬戸衛生社 ☎ 984-5134  
 第一衛生社 ☎ 984-1169 大塚衛生設備 ☎ 984-1925  
 松前衛生社 ☎ 984-7981

▼日時 2月12日(日) 13時開演  
▼場所 松前総合文化センター  
広域学習ホール  
▼内容 文化センターの舞台でできることであれば可(邦楽・舞踊・ダンス・手品・落語・吟詠・剣詩舞・腹話術・軽音楽・コーラスなど)



第5回まちおこし演芸名人会出場者

▼日時 1月22日(日) 9時  
▼場所 松前小学校体育館  
▼種目 ①一般の部 1部(上級者)男女ダブルス ②一般の部2部 男女別ダブルス  
※1、2部を統合する場合あり  
▼参加資格 町内に在住または勤務する人(学生・生徒可)  
▼申込先 松前公園体育館、文化センター、東・西・北公民館  
▼締め切り 1月13日(金) 17時  
●松前町体育協会事務局(松前公園体育館内) ☎985-4138

## 募集

第34回松前町バドミントン大会出場者

▼出演時間 原則10分まで(準備・撤去時間を含む)  
▼締め切り 12月17日(土)  
※募集要項は、松前総合文化センターと東・西・北公民館にあります。  
※作品出展者も同時に募集します。  
▼申込先 松前町文化協会事務局(松前総合文化センター内) ☎985-1313

陸上自衛隊高等工科学校生徒

▼応募資格 15歳以上17歳未満(平成24年4月1日現在)の男子  
▼試験日 (二次) 1月14日(土) (二次) 1月28日(土) 31日(火)のうち指定する1日  
▼試験会場 (二次) 松山市農協ビル(予定) (二次) 陸上自衛隊松山駐屯地(予定)  
▼試験科目 (二次) 学科試験 (二次) 個別面接と身体検査  
▼合格発表 2月17日(金)  
▼締め切り 1月6日(金)  
●自衛隊松山募集案内所 ☎947-3040

## お知らせ

12月冬の運転には冬用タイヤやチェーンを冬場の道路は、積雪や路面温度

## 相談

12月4日~10日 第63回人権週間

12月4日(日)~10日(土)は、「第63回人権週間」です。法務省と全同人権擁護委員連合会は、「みんなで築こう人権の世紀」を考えよう相手の気持ち育てよう「思いやりの心」をテーマに各種行事を実施します。人権問題で困っている人は、相談ください。(無料・秘密厳守)

相談機関

松山地方法務局 ☎932-0888  
子どもの人権110番 ☎0120-007-110  
女性の人権ホットライン ☎0570-070-810

人権問題に関する12時間電話相談

▼相談内容 差別待遇、暴行・虐待、いじめ、プライバシーの侵害など、家庭や近隣関係での人権問

## 年末年始の事故を防ごう

### 消防署 だより

松前消防署 ☎984-3404

今年も慌ただしい「師走」となりました。楽しい年末年始を迎えるためにも、この時期に発生しやすい事故の傾向や注意点を知り、事前に対策を立てておきましょう。

### 救急

#### 🚰 飲酒による事故をなくそう

《予防のポイント》

- 1 自分の適量を知り、その日の体調に注意
- 2 一気飲みは絶対にしない
- 3 飲酒の無理強いはいらない

#### 🚰 餅や食べ物による窒息をなくそう

《予防のポイント》

- 1 餅や肉などは、小さく切って食べやすい大きさにする
- 2 急いで飲み込むことなく、ゆっくり噛んで食べる
- 3 高齢者は、なるべく家族と一緒に食事をする

#### 🚰 入浴中の事故をなくそう

《予防のポイント》

- 1 湯温は39℃~41℃くらいにする
- 2 脱衣場や浴室の室温が低くならないようにする
- 3 食事直後や深夜は入浴しない
- 4 心肺の慢性疾患や高血圧症を持つ人は半身浴が望ましい
- 5 心疾患がある人や高齢者が一人で入浴する場合は、ときどき声を掛けて様子を見る

### 火災

- 🔥 放火による火災を防ごう
- 🔥 電気火災を防ごう
- 🔥 暖房機器からの火災を防ごう
- 🔥 たばこやてんぷら油からの火災を防ごう

《住宅防火 いのちを守る7つのポイント》

#### 3つの習慣

- 1 寝たばこは絶対にしない
  - 2 ストープは燃えやすいものから離れた位置で使う
  - 3 ガスコンロなどのそばを離れるときは火を消す
- #### 4つの対策
- 1 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器をつける
  - 2 寝具や衣類からの火災を防ぐために、防災製品を使う
  - 3 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器を設置する
  - 4 お年寄りや身体不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる

急な病気やけがをした場合に、「救急車を呼んだ方がいいのかな?」「すぐ病院に行った方がいいのかな?」など

迷ったときは、**松前消防署 ☎984-3404**まで連絡ください。



### ● 12月の納税 ●

固定資産税 第3期  
国民健康保険税(普通徴収) 第6期

納期限は 12月26日(日)

◎納期限内にお納めください◎

口座振替は 12月26日(日)

町県民税・国民健康保険税(特別徴収分) 12月期分は年金支給日に差し引き納付となります。

### 人のうごき

(H 23.10.31 現在)

区分	人口	前月比
男	14,892	+26
女	16,385	+28
合計	31,277	+54
世帯	12,840	+42

題に関するあらゆる相談(予約不要・無料・秘密厳守)  
▼日時 12月5日(月) 9時~21時  
▼電話番号 フリーダイヤル 0120-459-737  
▼相談担当者 人権擁護委員、法務局職員  
●松山地方法務局人権擁護課 ☎932-0888



シクラメンの成長をチェックする竹中伸枝さん



真剣な表情で作業に取り組む研修生

たくさんの手を掛け  
育てられるシクラメン



出荷用としてきれいに並べられたシクラメン



一つ一つ取り上げながら、枯れた葉を摘む



ガラス温室が並ぶ道を抜け、シクラメンを出荷用トラックへ

作りたいのは、長く愛されるもの。

農免道路を中川原方面に向かうと、道路を一本入ったところに広がる畑の中、ガラスの温室が見える。11月、温室内では赤、白、ピンクと、色とりどりのシクラメンが、花のじゅうたんを織りなしている。

竹中園芸の2代目、竹中伸枝さん(33)。およそ40品種、7万鉢のシクラメンを栽培している。シクラメンは、今まさに出荷最盛期。パート5人、フリーピンからの研修生2人、そして両親と一緒にシクラメンの鉢1つ1つを取り上げながら、枯れた葉を摘み、トレイに載せていく。10月に始まったこの出荷作業は、12月下旬まで続く予定だ。

シクラメンは、昨年12月から種をまき、ほぼ1年かけて、丹精込めて育ててきた。水や肥料の量、温度管理の仕方、花は大きさや色を微妙に変える。だからシクラメンの『顔』には農家の個性が表れる。伸枝さんのつくるシクラメンは優しい色の花を咲かせる。

伸枝さんは「松前の湧水を使っているからきれいな花が咲くのかも」と笑う。

温暖な気候の松前町。それに対して、本来、シクラメンに適するのは涼しい気候。暑いところで育ったシクラメンは暑さに強い。松前のシクラメンは、名古屋や大阪、四国全般でも高

い評価を受けている。

長く楽しめることも伸枝さんのシクラメンの特徴。1つ手に取ると、咲いている花の根元には、次の出番を待つほみが競い合うように顔を出していた。

「たくさん花を咲かせて、長く愛されるものを作りたい。普通後継者は上の意見を聞くことが多いけど、うちの両親は私の意見を尊重してくれる。パートさんやお客さんにも意見を聞かせてもらって、常に新しいものも考えるようにしてる」という。

「シクラメンの魅力は、冬の寒い時期に部屋をばつと明るくするところ。ここでつくったシクラメンが一つ一つ誰かの家に行くと思うと幸せ」と微笑む。間もなく、次の年に向けて種まきが始まる。伸枝さんは、「来年、再来年、これからもずっと、誰かの笑顔のためにシクラメンを育てていきたい」と話していた。



写真左から、竹中圓さん、伸枝さん、秀一さん。松前に移転して30周年



筒井633  
☎98514140

12月の新刊

- ◆百歳／柴田 トヨ
  - ◆暴力団／溝口 敦
  - ◆鼠、夜に賭ける／赤川 次郎
  - ◆おまえさん 上・下／宮部 みゆき
  - ◆僕は君たちに武器を配りたい／瀧本 哲史
  - ◆はげましてはげまされて／竹浪 正造
  - ◆十津川警部箱根バイパスの罠／西村 京太郎
  - ◆鬼物語／西尾 維新
- ※この他にもたくさんのお本が入っています。

松前町ふるさと  
ライブラリー

おはなしかい

日時 12月17日(土) 11時  
場所 文化センター2階  
第2研修室

絵本や紙しばい、パネルシアターなど  
を使って毎回楽しいおはなしをします。  
皆さん、ぜひ来てみてください。

12月のふるさとライブラリー

○開館時間 9時30分～19時  
○休館日 12月28日(土)～1月4日(木)

東  
公民館

神崎210  
☎98411159

ミニミニ動物園

10月2日、「命の大切さを学ぶ」情操教育の一  
つとして、東公民館で移動動物園を開園しまし  
た。

当日は、たくさん動物たちが集まりミニミ  
ニ動物園と化した東公民館。ポニーに乗った  
り、かわいいウサギを抱きしめたり、ヘビを首  
に巻きつけたり、カメに草をやったり…。子ど  
もたちは、普段あまり見ることがないさまざま  
な動物たちと、積極的に触れ合って楽しんでい  
ました。

しかし、30キロもある陸ガメが敷地内を歩き  
回り、休むことを知らないのには驚きました。  
ウサギとカメの童話は、まさに納得のお話で  
す。



平成猿蟹合戦図

吉田 修一著 / 朝日新聞出版



新宿で起きた轢き逃げ事件。平凡な  
暮らしを踏みじった者たちへの復讐  
が、全ての始まりだった。心優しい8人  
の主人公が、少しの勇気と信じる力で、  
この国の未来を変える戦いに挑む。

境遇

湊かなえ著 / 双葉社



デビュー作の絵本がベストセラーと  
なった陽子と、新聞記者の晴美は親  
友同士。共に幼いころ親に捨てられ  
た過去を持つ。ある日、脅迫状とど  
もに、陽子の息子が誘拐され…。

一般書

一般書

絵本

なぜなぜのみせ

石津 ちひろ なぜなぜ /  
なかざわくみこ絵 / 偕成社



最初は真っ白、やがてだんだん黒く  
なる。さて、一体なあに？ 文房具屋  
さん、洋服屋さん、時計屋さんなど、  
いろいろなお店をめぐるって買い物  
するようになぜなぜを楽しめる絵本。

児童書

少年弁護士セオの事件簿1

ジョン・グリシャム作 / 岩崎書店



ゴルフ場から始まる殺人事件、姿なき  
目撃者、刻々とせまる評決のとき。13  
歳の少年セオだけが事件のカギをつ  
かんだ。真犯人は誰!? 巨匠グリシャ  
ムによるジュニア向け法廷ミステリー。

西  
公民館

北黒田966-2  
☎98415313

放課後子ども教室

地域社会の中で、子どもたちが安全で、安心し  
て、健やかに育まれるよう、「放課後子ども教室」  
が毎週金曜日に開催されています。

教室では、1・2年生35人が、五目並べをし  
たり、わらべ唄で遊んだり、土笛・たこ・紙飛行機  
などを作って遊んだり、地域の皆さんと一緒に  
さまざまな体験活動をしています。

10月21日には「お茶を体験しよう」という活動  
をしました。慣れない正座で神妙な顔をして、和  
服姿の先生のお話を耳を傾け、まず茶菓子を、そ  
して次に抹茶をいただきました。始めは顔を  
しかめていた子どもも、慣れるに従って次々とお  
かわりをしていました。そして最後はお茶をた  
てて体験もさせていただきました。大喜びの一日でした。



包  
括支援

筒井710-1  
☎98514205

松前町地域包括  
支援センター

「口の寝たきり」を予防しましょう  
「口の中が汚れたまま」  
「歯が悪いので固いものは食べられない」  
「合わない入れ歯で我慢している」  
「人と話す機会があまりない」  
「よくむせる」  
これらに当てはまりませんか？ 当てはまっ  
た人は、たとえ体が動いても、口腔機能が衰え  
「口の寝たきり」になってしまいう危険性があ  
ります。

- 【口の寝たきりの症状】
- ・低栄養、脱水
  - ・誤えん、窒息
  - ・食事が偏り、体力が低下するため足腰が弱る
  - ・生きる楽しみの消失
- 【口の寝たきりにならないために】
- 1 しっかりと食べてみましょう
  - ・口の周りの筋肉が鍛えられ、かむ力・飲み込  
む機能が上がる
  - ・唾液がよく出るようになり消化が促進される
  - ・脳が活性化し、認知症予防につながる
  - 2 バランスのよい食事をおいしく食べましょう
  - ・低栄養を防ぎ身体機能の維持・向上につながる
  - ・食べる事は友人との交流、生きがいにつながる

北  
公民館

昌農内456-1  
☎98417529

おかだつ子広場

北公民館では、毎週木曜日に放課後子ども教  
室「おかだつ子広場」を開催しています。

10月20日の教室では、職場体験でお手伝いに  
来てくれた中学生のお兄さん3人と一緒に、自  
分の感性にまかせて花を配置、編成するフラワ  
ーアレンジメントに挑戦しました。

制作に取り掛かると、男の子も女の子も真剣  
なまなざしでアレンジメントに没頭。完成した  
作品は個性あふれる作品ばかり。子どもたち  
も、自分で作った作品に満足気な表情を見せて  
いました。

終了後、迎えに来た保護者も、その出来栄  
に感嘆の声をあげ、ちよっぴり得意気な子ども  
たちでした。



## ふるさと歴史散歩 79

～松前史談会レポート～

### 横田1番地を訪ねるII

横田の幹線道路は、県道 219 号砥部伊予松山線。JR 予讃線は、市坪駅を出ると県道との交差点にある伊予横田駅に停まる。

#### ①地久山天長寺(曹洞宗)

天長寺は小字楠、水田に囲まれた場所にあり、松前町誌・文化財あんない(松前町教委)に詳しく記されている松崎新蔵事件(安永 3、1774 年)の舞台である。頌徳碑を建て、今も彼の絵図をかけて法要を営んでいる。天長寺の親寺は、山口県周南市の龍文寺(曹洞宗中本山)で、愛媛県下では現在 4 寺。格の高い直末寺である。事件から 8 年後(天明 2、1782 年)、龍文寺から天長寺宛に出された覚書(天長寺が山越の龍穩寺と同格の直末寺である確認など 4 箇条)がある。

創建時から山門にかかる寺号の額は、東温市にある慈光寺僧日舟(初代松山藩主松平定行の弟?)の書。後に伊豆修善寺の住職となる斎院絶三にいたる歴代住職の位牌や立派な梵鐘がある。本堂は昨年改築された。駐車場も広く、休憩できる四阿もあるので、ぜひ一度訪れてほしい。

#### ②素鷲神社

横田の氏神さんで、毎月 1 度は清掃日。賤ヶ岳 7 本槍の絵馬がある。JA のカントリーエレベーターが目印になる。



■松崎新蔵を描いた掛軸の一部  
毎年 8 月の法要には、この絵図をかける。拝礼する

■天長寺本堂内  
龍文寺覚書を見上げ、説明を聴く参加者



12 月 10 日(土)は、恵久美 1 番地を訪ねる。8 時 30 分、庁舎南駐車場集合。現地参加(恵久美集会所)も歓迎。

◎ 松前史談会(鷺野) ☎ 984-5439

## Boys&Girls, Be Ambitious!

頑張る子どもたちを紹介します



### 環境のことを考えて行動

川村 志穂 ちゃん 岡田小 5 年・恵久美  
Kawamura Shiho

岡田小学校 5 年生の川本志穂ちゃん。愛媛森林管理署が取り組んでいるボランティアに参加しています。先生も、「新聞記事の切り抜き学習では環境問題を積極的に取り上げています。それに対する自分の意見もいつも思いやりがあります」と関心するほど、環境のことを考え、行動している女の子です。

ボランティア活動をはじめたのは、愛媛森林管理署に勤めているご両親について行ったことがきっかけでした。志穂ちゃんは「山でゴミ拾いをしたり、田植えをしたりしています。きれいになった山を見るのが楽しいです」とにっこり。先日、自分たちの手で植えたお米の稲刈りをしたと話します。「お米はアフリカに送ります。アフリカでは戦争が多いと聞いています。戦争がなくなって、いろいろな作物がつかれるようになればいいな」と話す志穂ちゃん。大人になったら「山に行って、いろいろな動物とふれあったり、木を植えたりしたいです。今、温暖化で南極や北極の氷が溶け始めていて、ツバルという国が沈んでしまうかもしれません。それを止めたくて」ときっぱり。志穂ちゃんの夢を叶えるには、みんなの協力が欠かせません。

## 1歳です。よろしくね

さいき ひまり ちゃん  
佐伯 日鞠

鶴吉  
平成 22 年 12 月 6 日生  
(父) 荒太さん (母) 綾子さん  
すくすくと元気で育ってほしい。



いしだ ひでや くん  
石田 英也

北黒田  
平成 22 年 12 月 4 日生  
(父) 雅春さん (母) ひとみさん  
日本の将来は英也たちの時代だ!



たかおか こうき くん  
高岡 幸樹

筒井  
平成 22 年 12 月 27 日生  
(父) 直幸さん (母) 瑞穂さん  
こうくん、これからもお兄ちゃんと一緒に元気に育ってね。



にしだ のはな ちゃん  
西田 乃花

上高柳  
平成 22 年 12 月 28 日生  
(父) 信也さん (母) 理沙さん  
お兄ちゃんと仲良く、元気に大きくなってね♡のはちゃん。

ゆだて みゆ ちゃん  
弓達 未結

出作  
平成 22 年 12 月 13 日生  
(父) 俊英さん (母) マミさん  
お誕生日おめでとう。四姉妹で仲良くしてね♪



### 2月に1歳になるお子さん募集

背景が明るい横長の写真(デジタルデータも可)を持参してください。  
\*先着 6 人です。  
募集期間 12 月 1 日(土)～12 月 15 日(日)  
▶総務課広報情報係 ☎ 985-4132

### おうちで給食

#### recipe 39 煮込みうどん



Point 野菜たっぷりでも温まるので、冬にぴったりの献立です。給食では「ちゃんこ鍋」の献立名で登場します。

#### ●材料● (4人分)

うどん……………4玉  
若鶏もも皮なし……………100g  
生揚げ……………1枚  
干しいたけ……………1枚  
もち……………小4個人  
人参……………1/2本  
白菜……………4枚  
えのき茸……………1束  
長ねぎ……………1本  
春菊……………1/2束  
煮干し……………20g  
昆布……………10g  
水……………1.2リットル  
塩……………少々  
薄口しょうゆ……………大さじ2  
酒……………大さじ1

#### ●作り方●

- 1 白菜はざく切りに、長ねぎは斜め切りにする。えのき茸、春菊は根元を切り、さばいておく。
- 2 干しいたけは水でもどし、せん切りにする。人参もせん切りにする。
- 3 生揚げは太めのせん切りにして油抜きをし、若鶏もも皮なしは一口大に切る。
- 4 Aでだしをとり、Bと2・3の材料を加えて煮る。
- 5 えのき茸、白菜、うどん、もちを加えて煮る。
- 6 最後に長ねぎ、春菊を加えて出来上がり。

# 行ってこーわい 会ってこーわい

## 「北伊予ソフトテニススクール」

テニスを通じて  
友情とふれあいの輪を広げる

No. 39

北伊予中学校や松前公園で、毎週土・日曜日に活動している「北伊予ソフトテニススクール」。結成10年目を迎えた現在、小学生29人が11人のコーチに指導を受けています。代表の大西正子コーチは、「子どもたちはみんなとにかくテニスが好き。コーチたちもそう。みんな楽しくテニスをしてるのが1番」と微笑みます。

その言葉通り、コートは元気な笑顔であふれていました。友達のナイスプレーに喜び、ゲーム練習のときは、ペアでじっくりコミュニケーション。もちろんその反面、真剣な表情でボールを追っています。

本年度の戦績は、6年生の男子ペアと4年生の男子ペアが四国学年別チャンピオンになり、6年生は全国大会へ出場。女子も県で6位に入賞し、3ペアが四国大会に出場しました。

2年生のときから参加している北伊予小6年の三好由夏ちゃんは、「前衛で、ボレーやスマッシュを決めたときがうれしいです。練習では、大きな声を出して、自分から進んでボールを拾うようにしています」と笑顔で話してくれました。



1. 元気いっぱい練習に励んでいる子どもたちとコーチ  
2. 真剣な表情でプレーする子どもたち

### ▼編集後記

毎月締め切りに追われています。今月は特にそうでした。協力してくれた皆さん、本当にありがとうございました。特集の取材では、それぞれのご家族の想いにふれ、胸がいっぱいでした。編集では、頭がいっぱいいっぱいでした。そんな気持ちで帰宅したときに限って、「おかえり。先寝るよ。冷蔵庫にごはんあるよ」のメモ。家族の「おかえり」が一番ほっとしているのは私です。(高橋)

広報の担当になり、カメラの魅力が分かってきました。例えば、まさき文化祭の獅子舞。立つよりも、ぐっとしゃがんで子どもたちの視線になると、獅子がとてつもない怪物に見えます。そんなハッとするような景色が見るのが、カメラの魅力。でも今のところ僕はその魅力を一人占め中です。写真にすると、ピントがあつてなくて広報に載せられないので…。ハッとするような写真も撮れるよっつ頑張ります。(松田)



\*\*\*\*\*

「あつたか」お風呂  
住まいのリフォーム  
あいがん  
TOTORIモデル  
クラブ会員店  
松山市土居町500-15 0120-96-8787

太陽光発電の設置勧誘に注意  
太陽光発電システムの設置勧誘の電話を松前町役場がすることは絶対にありません。悪徳業者による勧誘の電話の事例も報告されていますので、十分ご注意ください。  
問 町民課生活環境係 ☎ 985-4117

有料広告募集中  
掲載場所 裏表紙の最下段  
広告料 20,000円/枠(1カ月)  
大きさ 縦40ミリ×横60ミリ  
カラー フルカラー  
問 総務課広報情報係 ☎ 985-4132

発行/松前町  
編集/広報編集委員会  
発行日/平成23年12月1日  
〒791-3192  
愛媛県伊予郡松前町大字筒井631  
☎ 089-985-2111(代)

この広報紙は、資源保護と環境に配慮して大豆油墨、水なし印刷で作成しています。

